

令和3年度事業報告書

自 令和3年4月1日

至 令和4年3月31日

1. 第53回通常総会

- (1) 日時 令和3年6月22日(火) 午後1時30分から
- (2) 場所 日本特殊陶業市民会館 ビレッジホール
- (3) 出席者 出席者 195名
委任状提出者 2,276名 計 2,471名
- (4) 会議内容
議案審議
第1号議案 令和2年度事業報告及び収支決算報告(案)並びに監査報告について
第2号議案 令和2年度公益目的支出計画実施報告書及び監査報告について
第3号議案 令和3年度事業計画及び収支予算について

2. 理事会

- (1) 第196回理事会 令和3年5月27日
① 令和2年度事業報告及び収支決算(案)並びに監査報告について
② 令和2年度公益目的支出計画実施報告書(案)について
③ 新規会員の承認について
- (2) 第197回理事会 令和3年6月22日
① 第53回通常総会について
② その他
- (3) 第198回理事会 令和3年10月28日
① 新規会員の承認について
② その他
「水族館について」 森副会長・栗田水族館館長
- (4) 第199回理事会 令和4年3月22日
① 令和4年度事業計画(案)について
② 令和4年度収支予算(案)について
③ 新規会員の承認について

3. 会員の状況

令和4年3月31日現在の会員数は、正会員3,688名、賛助会員101名の3,789名で225名の減。

4. 社会貢献事業（公益目的事業）

- (1) 1月に東谷山フルーツパークにおいて、ヤエベニシダレザクラの植樹を行った。
- (2) 名古屋フィルハーモニー交響楽団の団員による演奏会を「藤の宮保育園」で3月に実施し、園児等に生演奏を楽しんでいただいた。
- (3) 「まちを美しくする会」と共同で市内の公園・道路などの環境美化ボランティア活動を行った。

5. 福利厚生事業

- (1) 「名友報」の発行
第119号（令和3年6月）、及び第120号（令和4年1月）を発行した。
- (2) 指定店の利用斡旋
指定店制度を引き続き実施した。
- (3) 保険事業
全日本自治体退職者会、都市職員災害共済会及びこくみん共済の共済事業並びに団体扱保険等の被保険者の加入促進に努めた。
- (4) 慶弔事業
白寿（99歳）になられた3名の会員に祝い品を贈呈した。
また、米寿（88歳）になられた48名、喜寿（77歳）になられた152名の会員に対して祝い品を贈呈した。
死亡された会員66名の遺族に弔慰金を贈呈し弔意を表した。
- (5) クラブ活動助成
ゴルフ部、俳句部の各クラブに助成を行った。
- (6) 「名友会」のホームページの更新充実を図り、情報提供するとともに会員の交流を深めた。
- (7) 会員の福利・厚生事業として「健康講座 いきいきライフセミナー」を開催した。
- (8) 会員が参加できる事業として、12月に「クラシックの名曲とランチを楽しむ会」を宗次ホールにて開催した。

6. 諸会議

全国の退職者団体との連絡協調を図るため資料交換など情報収集に努めた。

令和3年度 一般会計 正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
会員会費収入	7,443,000	7,696,000	△ 253,000
② 事業収益			
事業収入	5,597,191	5,485,783	111,408
③ 受取負担金			
負担金収入	2,133,980	1,755,600	378,380
④ 雑収益			
投資有価証券運用益	57,418	57,418	0
受取利息	52	362	△ 310
雑収入	0	106,520	△ 106,520
⑤ 退職給与引当金取崩額			
役員退職慰労引当金取崩額	0	0	0
退職給付引当金取崩額	0	314,000	△ 314,000
経常収益計	15,231,641	15,415,683	△ 184,042
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	1,960,000	1,960,000	0
給料手当	2,352,000	2,198,875	153,125
退職金	0	313,600	△ 313,600
福利厚生費	101,578	152,062	△ 50,484
租税公課	71,000	81,600	△ 10,600
活動推進費	915,730	944,000	△ 28,270
慶弔費	1,752,040	1,902,371	△ 150,331
旅費交通費	22,626	66,006	△ 43,380
通信運搬費	238,805	193,204	45,601
備品費	225,948	174,277	51,671
修繕費	0	0	0
印刷製本費	35,075	58,805	△ 23,730
会報発行費	1,829,258	2,002,056	△ 172,798
会員厚生費	121,819	143,308	△ 21,489
貸借料	831,033	828,448	2,585
諸謝金	240,240	240,240	0
委託料	432,470	618,942	△ 186,472
光熱水費	100,613	129,093	△ 28,480
助成金	30,000	90,000	△ 60,000
雑費	572,154	674,719	△ 102,565
退職給付引当金繰入額	273,000	0	273,000
② 管理費			
役員報酬	840,000	840,000	0
給料手当	1,008,000	942,375	65,625
退職金	0	134,400	△ 134,400
福利厚生費	43,533	38,015	5,518
会議費	108,000	104,260	3,740
総会費	1,900,135	1,835,542	64,593
旅費交通費	2,514	7,334	△ 4,820
通信運搬費	243,630	209,305	34,325
備品費	27,926	19,364	8,562
修繕費	0	0	0
印刷製本費	36,507	61,205	△ 24,698
貸借料	937,123	934,208	2,915
諸謝金	102,960	102,960	0
負担金	212,000	212,000	0
寄付金	0	0	0
光熱水費	100,614	50,203	50,411
雑費	85,494	100,820	△ 15,326
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0
退職給付引当金繰入額	0	0	0
経常費用計	17,753,825	18,363,597	△ 609,772
当期経常増減額	△ 2,522,184	△ 2,947,914	425,730
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	20,190	20,190	0
経常外費用計	20,190	20,190	0
当期経常外増減額	△ 20,190	△ 20,190	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,542,374	△ 2,968,104	425,730
一般正味財産期首残高	35,002,660	37,970,764	△ 2,968,104
一般正味財産期末残高	32,460,286	35,002,660	△ 2,542,374
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	32,460,286	35,002,660	△ 2,542,374

令和3年度 一般会計 貸借対照表

令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
普通預金	708,355	1,907,997	△ 1,199,642
定期預金	0	2,000,000	△ 2,000,000
未収金	694,809	16,868	677,941
前払費用	150,200	147,300	2,900
流動資産合計	1,553,364	4,072,165	△ 2,518,801
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
退職給与引当預金	857,000	584,000	273,000
特定資産合計	857,000	584,000	273,000
(2) その他固定資産			
投資有価証券	30,039,003	30,059,193	△ 20,190
電話加入権	229,928	229,928	0
保証金	750,000	750,000	0
その他固定資産合計	31,018,931	31,039,121	△ 20,190
固定資産合計	31,875,931	31,623,121	252,810
資産合計	33,429,295	35,695,286	△ 2,265,991
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	112,009	108,626	3,383
預り金	0	0	0
流動負債合計	112,009	108,626	3,383
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	809,000	584,000	225,000
退職給付引当金	48,000	0	48,000
固定負債合計	857,000	584,000	273,000
負債合計	969,009	692,626	276,383
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	32,460,286	35,002,660	△ 2,542,374
負債及び正味財産合計	33,429,295	35,695,286	△ 2,265,991

令和3年度 一般会計 財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

適 用	内 訳	金 額	
(資産の部)			
I 流動資産			
現金預金			
普通預金	三井住友信託銀行名古屋営業部	708,355	708,355
"	三井住友信託銀行名古屋営業部	0	0
未収金			
会員会費収入	郵便局	685,019	685,019
預け金	SMBC日興証券	9,790	9,790
前払費用			
総会費用	共立・名古屋共立共同事業体	150,200	150,200
流動資産合計			1,553,364
II 固定資産			
無形固定資産			
電話加入権	052-263-1593 他	229,928	229,928
保証金	吉野道子（事務室借上）	750,000	750,000
投資有価証券	大和証券／名古屋市債	10,048,793	10,048,793
"	SMB C 日興証券／福島県公募公債	19,990,210	19,990,210
退職給与引当預金	三井住友信託銀行名古屋営業部	857,000	857,000
固定資産合計			31,875,931
資 産 合 計			
			33,429,295
(負債の部)			
III 流動負債			
未払金			
法人住民税	当年度分	71,000	71,000
その他諸経費	3月分	41,009	41,009
預り金			
源泉所得税	3月分	0	0
流動負債合計			112,009
IV 固定負債			
役員退職慰労引当金	期末要支給額	809,000	809,000
退職給付引当金	期末要支給額	48,000	48,000
固定負債合計			857,000
負 債 合 計			
			969,009
正 味 財 産			
			32,460,286

令和3年度 一般会計 財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価基準及び評価方法は、償却原価法（定額法）によっている。

(2) 引当金の計上基準

役員退職慰労引当金及び退職給付引当金は、期末退職給与の要支給額の相当額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
退職給与引当預金	584,000	273,000	0	857,000
小 計	584,000	273,000	0	857,000
合 計	584,000	273,000	0	857,000

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	—
特定資産				
退職給与引当預金	857,000			(857,000)
小 計	857,000	0	0	(857,000)
合 計	857,000	0	0	(857,000)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

科 目	帳簿価額	時 価	評価損益
投資有価証券			
福島県公募公債	19,990,210	20,006,000	15,790
名古屋市債	10,048,793	10,136,000	87,207
合 計	30,039,003	30,142,000	102,997

5. 実施事業資産の事業別の区分

資産の名称	当期末残高			合 計
	継 1	継 2	継 3	
投資有価証券	9,011,701	18,023,402	3,003,900	30,039,003
合 計	9,011,701	18,023,402	3,003,900	30,039,003

令和3年度 一般会計 付属明細書

1. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、財務諸表に対する注記に記載している。

2. 引当金の明細

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	584,000	225,000			809,000
退職給付引当金		48,000			48,000